

# 大田家文書

―山野井村長府藩領庄屋家の記録―

令和5年2月17日(金)～3月28日(火)

〔開館時間〕9時～16時30分〔休館日〕月曜日・祝日

観覧無料

## 関連講演会

### 「長府藩の仕組み」

講師 松田 和也 氏(下関市立歴史博物館学芸員)

日時 令和5年(2023)3月17日(金)13時30分～15時

場所 山陽小野田市民館(栄町9-25) 2階 第1・2会議室

定員 60名(要事前申し込み 定員は変更になる場合あり)

【申し込み期間・方法】

令和5年(2023)3月8日(水)から3月16日(木)の内、

資料館開館日の9時～16時30分に電話にて

(電話は下記まで)

新型コロナウイルス感染症対策を行っております。最新の情報は、入館前に資料館正面入口の掲示  
またはHP(<https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/rekimin/>)をご確認ください。





新収蔵の古文書を紹介します！  
古文書の勉強を始めようと思う方は必見です。

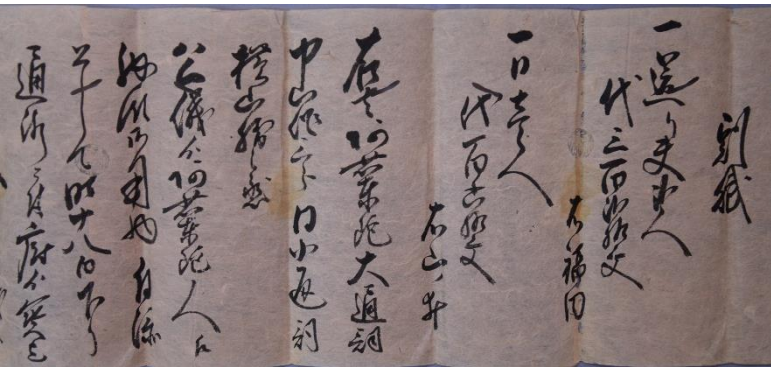
江戸時代、**厚狭郡山野井村**(現山陽小野田市山野井)の一部は**長府藩領**でした。その長府藩領の庄屋をつとめていたのが「**大田家**(現太田家)」です。大田家は、「**酒造業**」にも携っており、「**山田屋**」という屋号をもっていました。

家には、当時の村運営に関するもの、酒造業に関するものなど、多くの古文書がのこされました。これらが、令和2年度より当館に寄託され、整理を進めています。これまでに整理ができた古文書の一部を本企画展で紹介していきます。

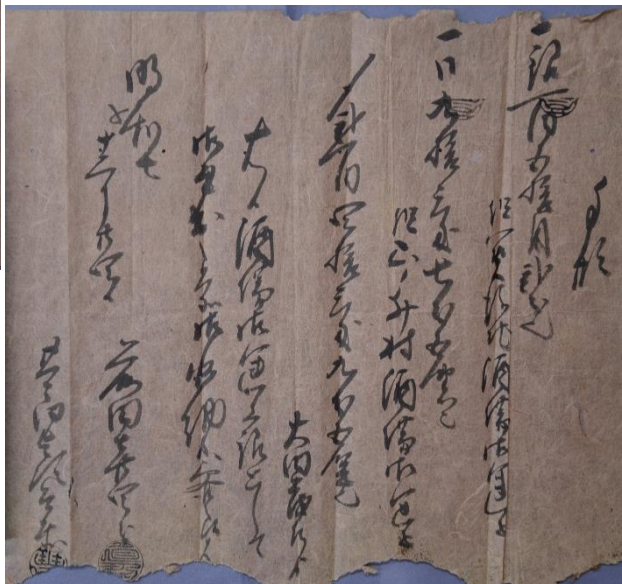
※古文書を受託する際の取り決めで、古文書群は「大田家」、所蔵は「太田家」とすることになっております。



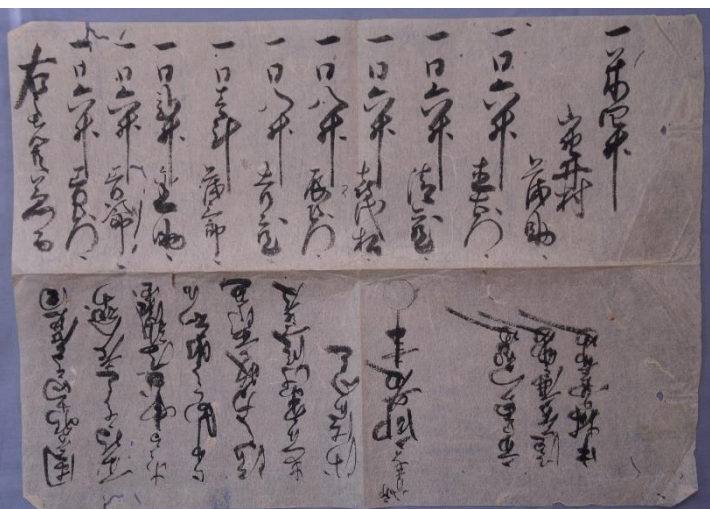
明治末年頃の太田家写真 太田家蔵  
写されている建物は、当時の「酒造蔵」。  
※パネルでの展示



阿蘭陀大通詞等通行二付割賦(部分)  
太田家蔵／当館寄託  
人夫の代銭を送るように指示されたもの。



酒場運上銀之手形 太田家蔵／当館寄託  
大田家が山野井村の他、赤間関にも店をかまえていたことがわかる。



困窮者救済之沙汰書 太田家蔵／当館寄託  
差出の「印藤隼」は、明治期には企業家として知られ、現在の山陽小野田市とも深くかわる人物。

### ギャラリートーク

- ・2月18日(土)「長府藩領山野井村」
  - ・3月4日(土)「大田家と酒造業」
- 両日ともに、11時から(20分程度)  
事前申し込みは不要。  
時間までに展示会場へお越しください。

## 山陽小野田市 歴史民俗資料館

Sanyo - Onoda City Museum of History and Folklore

〒756-0802 山口県山陽小野田市栄町9-21 【TEL】0836-83-5600  
【WEB】<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/rekimin/>



- 【開館時間】9:00~17:00  
【休館日】月曜(祝日の場合その翌日も休館)、祝日、12/27~1/5  
【交通アクセス】
- 電車をご利用の場合  
JR小野田線「南中川駅」下車、徒歩7分
  - バスをご利用の場合  
「小野田駅前」からバスで宇部中央、本山岬、刈屋、理科大、叶松団地行きのいずれかに乗車、約7分  
→「硫酸町バス停」で下車、徒歩3分
  - 車をご利用の場合  
山陽自動車道「小野田IC」より 約10分

